



vol.21秋号(10/26発行)掲載写真作品の中から、読者様が「一番好きな作品」に投票された上位3作品及び、皆様よりお寄せいただいた作品へのメッセージの一部と共にご紹介いたします。ご投票いただき誠にありがとうございました。



「ママ、あのね」[札幌市 2016年6月] ● 鈴木 章勝(札幌市北区)  
マガモのママと子供たちがお話しているようです。



マガモのかわいい子供が愛らしく、お母さんのものやさしいまなざしが感じられます。(S様・女性)

わんぱく盛りの子どもたちをお母さんがどっしりかまえて見守っているところがかわいいですね。(K様・女性)

マガモの表情がとてもかわいい。(I様・男性)

マガモの子どものママへのお話し声が聞こえてくる様です。(S様・女性)

岸本日出雄プロの講評

柔らかな光で毛並みもはっきり見えるくらい質感も良く出ており、アップで捉えた全体の雰囲気からマガモの親子の愛情に満ちた姿が伝わってきます。一羽がちょうど口を開けている場面を話しかけていると見て付けられたタイトルも気が利いていますね。



夕暮の丘[美瑛町 2015年8月] ● 村井 薫(札幌市西区)



まるで絵の具で色をつけたように綺麗な赤。こんな写真を撮ってみたいと思いました。(S様・女性)

雲の色と流れ、夕日の中の人影が綺麗。(E様・女性)

岸本日出雄プロの講評

いい光景に出会えましたね。左側には青空がまだ残り、時間の流れを感じさせる、微妙な場面が捉えられています。樹木と二人の人物のシルエットの配置もバランスが良く、画面に安定感をもたらしています。横長のトリミングもいいと思います。



ただ今、食事中[札幌市 円山公園 2016年3月] ● 佐藤 昌弘(札幌市厚別区)



背景が綺麗でシマリスも可愛いです。(S様・男性)

雪の中でも活動している凄さを感じる。(O様・女性)

岸本日出雄プロの講評

なかなかいいショットですが、全体にアンダー過ぎました。シマリスの顔を中心としてレタッチソフトで明るくすると、より一層表情を出すことができます。

プロフォトグラファー 岸本日出雄 より vol.22 冬感謝号コメント —— 「経験を重ねるからこそ見えてくる風景」

2016年は、撮影現場等でカメラを手にした方から声をかけられることが多くなり、皆さんのお話を直接伺う機会が増えてきました。興味深い話をたくさん聞くことができ勉強になりました。さまざまな経験を経てこそ見えてくる風景もあるとつくづく思い、私自身も新たな目標をもつことができましたと感謝しております。本年も皆様のより一層のご活躍を心より願っております。

読者様から 投稿者様へ

想いを結ぶ

編集事業部へお寄せいただいた、読者様からの温かいお声の一部をご紹介します。

とても綺麗な写真はかりて、楽しく見させていただきました。北海道のみならず全国の人に見てもらいたいフリーペーパーです。(W様・女性)

沢山の北海道の自然写真を見られてうれしい。(O様・女性)

北海道に住んでいて、まだ行った事がない所が沢山ある。この本を見て色々行きたくなりました。(T様・女性)

素晴らしい作品ばかりで北海道の四季を満喫させていただいております。(H様・女性)

皆さんの力作、凄いと思います。私もこんな写真が撮れるように頑張りたい。(H様・女性)

北海道には本当にたくさんの自然や動物の美しい風景や情景が多くて感心しました。(O様・男性)